



ITmedia DX Summit

Cloud Native Week 2021冬

既存資産を持つ一般企業のための
「本気で挑むクラウドネイティブ」

[集合型オンラインセミナー (Live配信)]
Ver.1.0

開催予定日 : 2021年11月中旬
事前申込 : 約550名想定
申込締切 : 2021年9月17日 (金)

アイティメディア株式会社
営業本部

TEL : 02-6892-2246 / 2247 / 2248

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

デジタルシフトが進展し、「アプリケーション開発・運用 = ビジネスの競争力」となりつつあります。経営環境やニーズの変化に即応するアプリケーション開発能力が、競合に対する最大の差別化要素となっているのです。こうした中、多くの企業から注目を集めているのが「クラウドネイティブ」です。ただ、大方にとっては依然として「言葉先行」であり、これを収益化の手段として実践できている例はまだ限定的です。

しかしながら、マイクロサービスアーキテクチャによるアプリケーションをCI/CDの手法で開発したり、ステートフルアプリケーションをKubernetes上で稼働させたりと、収益化の手段として使いこなす企業は、既存資産を持つ一般企業の中にも着実に現れ始めています。いつまでも「キーワードのまま」の企業との差は、急速に拡大していると言えるでしょう。

では、既存資産のしがらみがない一部企業とは異なり、自社が長年立脚してきた既存資産を持つ一般企業は、どのようなスタンスでクラウドネイティブに乗り出せば良いのでしょうか。**「既存資産を持つ企業」におけるクラウドネイティブのリアル、実感いただきます。**

イベント概要

開催概要

開催予定日 : 2021年11月中旬 ※調整中

イベント形式 : 集合型オンラインセミナー
(Live配信)

事前申込 : 約550名想定

視聴者参加費 : 無料

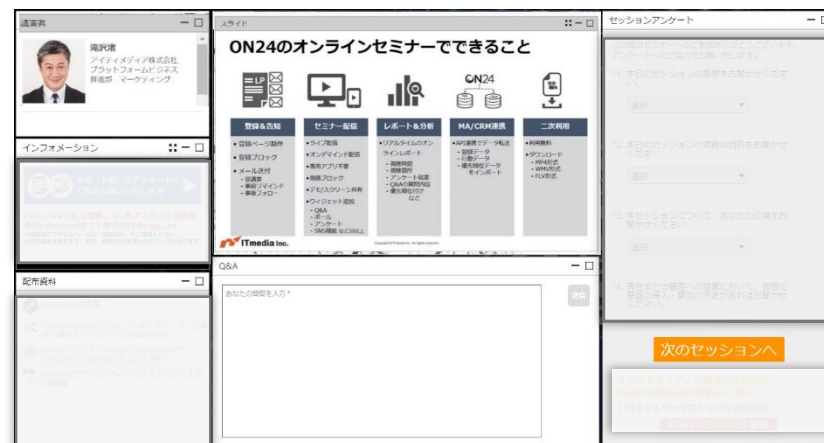
想定来場者 : 経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知/集客 : @IT、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

主催 : @IT、ITmedia エグゼクティブ (以上、アイティメディア株式会社)

運営 : アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

配信画面イメージ

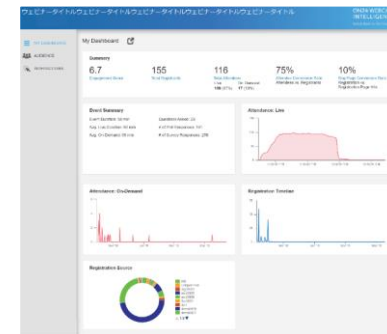


集客

申込

オンライン
セミナー
(Live配信)

イベント
レポート



アイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

Live Webセミナー 画面イメージ

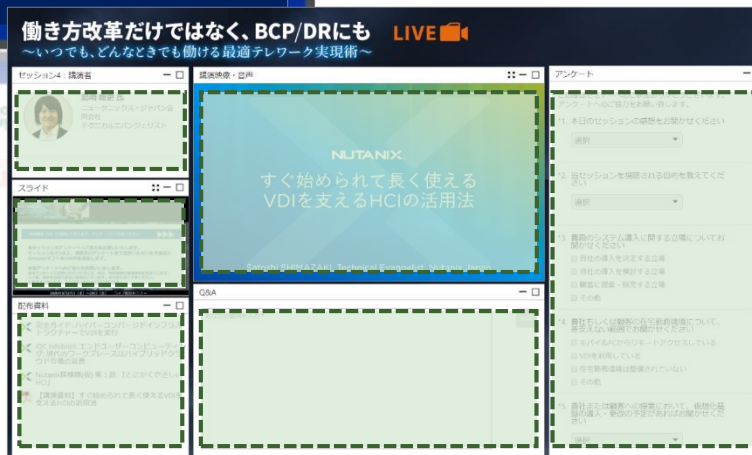
▼セミナー会場 エントランス画面 ※画面レイアウトは過去のセミナーのものです。



イベントタイトル・概要

ゾーン紹介

クリックで講演/
セッション画面へ



セッション
詳細

The screenshot shows a live seminar interface with a dark blue header. The header contains the text "働き方改革だけでなく、BCP/DRにも LIVE 映像" and "～いつでも、どんなときでも働ける最適テレワーク実現術～". Below the header, the interface is divided into several panels. Panel 1 (top left) is labeled "セッション4: 講演者" and contains a green box with the number 1. Panel 2 (top middle) is labeled "講演映像・音声" and contains a large green box with the number 2. Panel 3 (bottom left) is labeled "配布資料" and contains a green box with the number 3. Panel 4 (bottom middle) is labeled "Q&A" and contains a green box with the number 4. Panel 5 (right) is labeled "アンケート" and contains a large green box with the number 5. A "スライド" panel is visible between panels 1 and 2, showing a slide with text and a navigation arrow. On the left side, there are three callout boxes: "① 講演者紹介" pointing to panel 1, "② 講演映像 講演スライド" pointing to panels 1 and 2, and "③ 資料ダウンロード ・ 関連リンク" pointing to panel 3. On the right side, a callout box "⑤ 常時表示可能なアンケート" points to panel 5. Below the interface, there is a callout box "④ 質問送信フォーム" pointing to panel 4, which contains the text: "配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。 ※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ".

① 講演者紹介

② 講演映像
講演スライド

③ 資料ダウンロード
・ 関連リンク

④ 質問送信フォーム

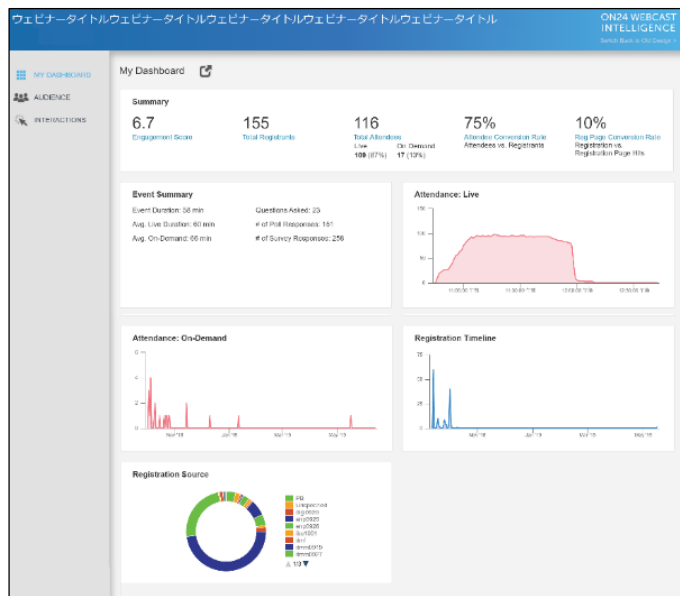
⑤ 常時表示可能なアンケート

配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。
※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ

講演配信だけでなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

オンラインイベントならではの強力なレポート機能

セッションへの登録状況や視聴有無、視聴時間、流入経路、アンケート結果などを、視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます



オンラインレポート掲載項目

- 視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、OS、ブラウザなど）
- ライブ/オンデマンドの視聴人数、平均視聴時間
- ライブの最大同時視聴数、視聴人数の推移
- Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴

ゾーン紹介とゲストセッション

デジタルテクノロジーの進展に伴い、わたしたちの暮らしや働き方は一変しました。企業も、ビジネス環境の激変に対応すべく、膨大なデータを活用し、顧客のニーズをいち早く捉え、迅速に新たな製品やサービスを提供していく必要があります。もちろん、企業が、みずからを迅速に変革していくには、情報システムの視点からはクラウドの強みを最大限に享受できるアプローチが求められますし、その取り組みが一過性のものでもないことも未曾有のコロナ禍が教えてくれています。それは業務そのものや組織のあり方の変革が求められているのです。エグゼクティブゾーンでは、企業文化・風土の変革まで踏み込んだDX推進の取り組みについて議論していきます。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です



日立製作所 (DXグランプリ2021)
サービス&プラットフォームビジネスユニット
Chief Lumada Business Officer 理事
熊崎 裕之氏

選定背景

日立製作所には、モノづくりに加え、OT（制御・運用技術）のノウハウや、基幹系システムなどで取り組んできたITがあります。この3つを組み合わせ、どの業種にも共通して対応できるプラットフォームがあれば、データから価値を生み出すデジタル事業を加速できるという議論から生まれたのが「Lumada（ルマーダ）」です。日立製作所はLumadaで企業や社会のDX推進に取り組んでいます。



トラスコ中山 (DXグランプリ2020)
取締役・経営管理本部長兼デジタル戦略本部長
数見 篤氏

選定背景

トラスコ中山は、モノづくりの現場を支えるプロツールの専門会社。46万点の在庫を誇り、ドライバーから即日配送できる独自のモデルを構築しています。DXを目的とするのではなく、「明るく・元気な社風と社員」を醸成し、社員一人ひとりが誇りを持ち、社会的価値を生む企業づくりを目指しています。

クラウドネイティブアプリケーションの管理、運用基盤として、現時点でのデファクトスタンダードとなっているKubernetes。現在は、ITそのものが本業であるWeb系に限らず、金融、製造、流通などさまざまな企業が社外向け／社内向けアプリケーションをKubernetes上で開発・運用しています。一般に、クラウドネイティブというと「Web系企業の話」といった印象もまだまだ強い中、彼らはクラウドネイティブをどう取り入れ、実践しているのでしょうか。なかなか聞けない「皆さんと同じ課題感を持つ企業」のクラウドネイティブ開発・運用事例を公開します。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です



ディー・エヌ・エー
システム本部 IT基盤部 部長
金子 俊一 氏



ゼンリンデータコム
技術本部 技術統括部 副部長
渡邊 大祐 氏



野村総合研究所 (NRI)
小林 隆浩 氏

視聴者の抱える課題意識（想定課題）

- クラウドネイティブアプリケーションのビジネスメリットが分からない
- クラウドネイティブ開発の仕組み、取り組みのポイントが分からない
- クラウドネイティブに関するプロジェクトがPoCで終わってしまう

対象ソリューション/キーワード

- コンテナ
- Kubernetes
- DevOps
- アジャイル開発
- マイクロサービス
- CI/CD

コロナ禍を受けて事業部門、IT部門を問わず、社外と社内の違いを気にせずに働く「ハイブリッドワーク」が今後の基本となるでしょう。
その環境を支えるITインフラ=ビジネスインフラには、抜本的な仕組みの見直しが求められています。
本ゾーンでは、リモート開発・運用、SASE/ゼロトラストセキュリティにフォーカスし、「ハイブリッドワーク時代の企業インフラ」の具体像を示します。

ゲスト講師候補 ※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です



LIXIL
IT部門 基幹システム統括部長
岩崎 磨氏



同志社大学
総務部 情報企画課
山北英司氏



サイバーエージェント
CIU Private Cloud Manager
澤田石 朋彦氏

視聴者の抱える課題意識（想定課題）

- ハイブリッドワークが増える中で既存ITインフラが課題になっている
- リモート環境での安全、効率的な開発・運用に悩んでいる
- クラウドアプリケーションの安全な利用に悩んでいる

対象ソリューション/キーワード

- ハイブリッドクラウド
- オンプレミス
- DevSecOps
- ネットワークセキュリティ
- SD-WAN
- ゼロトラスト

オンラインセミナー（Live配信） 開催スケジュール

ゾーン	Day 1 エグゼクティブ	Day 2 クラウドネイティブ開発・運用	Day 3 ITインフラ	Day 4 専用ゾーン
13:00 13:40	基調講演1-1 (Live/40分)	基調講演2-1 (Live/40分)	基調講演3-1 (Live/40分)	基調講演4-1 (Live/40分)
13:50 14:20	スポンサーセッション1-1 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-1 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-1 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-1 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
14:30 15:00	スポンサーセッション1-2 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-2 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-2 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-2 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
15:10 15:50	基調講演1-2 (Live/40分)	基調講演2-2 (Live/40分)	基調講演3-2 (Live/40分)	基調講演4-2 (Live/40分)
16:00 16:30	スポンサーセッション1-3 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-3 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-3 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-3 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー
16:40 17:10	スポンサーセッション1-4 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション2-4 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション3-4 (Live/30分) プラチナ/ゴールドスポンサー	スポンサーセッション4-4 (Live/30分) ダイヤモンドスポンサー

- ・会期終了後、全セッションを事前登録者に向けアーカイブ配信いたします。（2週間～1カ月予定）
- ・ライブ配信の会場は当社（アイティメディア株式会社）セミナールーム内のスタジオを予定しております。
- ・ライブ配信当日のご予定の調整が難しい場合は、セミナー動画を事前収録のうえご提出ください。
当該セッション配信時間帯に配信します。

スポンサープラン

メニュー	ダイヤモンドスポンサー (専用ゾーン設置：限定2社)	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	全リスト スポンサー	ゾーンリスト スポンサー
スポンサーセッション セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	○ (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	—	—
スポンサーアンケート 講演時間中に独自のアンケートを実施していただくことが可能です。	○	○	○	—	—
全申込者リストのご提供 セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	—	全申込者 約550名想定	—	全申込者 約550名想定	—
協賛ゾーン申込者リストのご提供 協賛ゾーンの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。※事前申込時に該当ゾーンを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です	ゾーン申込者 約250名想定 ※追加オプション有	—	ゾーン申込者 約250名想定	—	ゾーン申込者 約250名想定
自セッションの視聴者データのご提供および、自セッションのレポートサイトのご提供 自セッションのレポートサイトをご提供します。 セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。	○	○	○	—	—
事前アンケート結果 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。(設問は弊社設定)	○	○	○	○	○
スポンサーロゴ掲載 セミナー告知ページに掲載(貴社サイトへのリンク)します。	○	○	○	○	○
資料配付 セミナー参加者にカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。 ※ご講演資料については、貴社セッション内での配布が可能です	○	○	○	—	—
主催アンケート結果・開催報告書 主催アンケートの集計結果を後日ご提供します。(個人情報は含みません)	○	○	○	○	○
※お申込みが申込締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性があります。 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。 また、スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたしますのでご了承ください。	¥4,500,000- (消費税別)	¥2,700,000- (消費税別)	¥2,000,000- (消費税別)	¥1,400,000- (消費税別)	¥900,000- (消費税別)

■オプション セッション動画納品

上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。

(Live配信セッションのみ/編集なし)

¥50,000-
(消費税別)

お申込み締切：2021年9月17日(金)

イベントレポートオプションについて

- ☑ 大規模イベント出展と併せて、企業ブランディング、製品・サービスの理解促進が可能です！
- ☑ イベント講演内容をコンテンツ化することで、記事掲載までスムーズに進みます！

期間保証タイアップ



ご提供価格	定価 ¥1,500,000 ¥1,000,000 (税別)
掲載期間	1ヶ月間
仕様	3000~4000文字、図版1~2点
実施メニュー	タイアップ記事 1本制作 ※イベント内容を取材したイベントレポートに 限ります
誘導枠	@IT トップリンク (1ヶ月間) @IT サイドリンク (1ヶ月間) @IT 記事下リンク (2週間)

行動履歴ターゲティングタイアップ

クラウドネイティブに
興味・関心のある人だけを
記事へ誘導



行動履歴ターゲティングタイアップとは？

読者の行動データ（記事閲覧履歴）を基に「興味・関心」を特定し、「興味・関心」の高い人を**貴社タイアップ記事へ誘導**します。読者の行動データを外部サービスへ連携。拡張配信を行うことで、**アイティメディアに訪れたことのない、同じ「興味・関心を持つ人」**を捕捉することが可能です。読者のリーチが広がります

ご提供価格	定価 ¥1,700,000 ¥1,500,000 (税別)
保証PV	5,000PV
掲載期間	最短1週間~最長2ヶ月 (保証PVを達成次第終了)
仕様	3000~4000文字、図版2~3点
実施メニュー	タイアップ記事 1本制作 ※イベント前の取材も承ります (イベントレポートも可) 読者行動データを基にした、 タイアップ記事への誘導広告 閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)

- ・本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
- ・外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します（指定出来ません）
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。

- ・制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します。
- ・印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問合せ下さい。
- ・著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。
- ・お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下の追加費用が発生する場合がございますのでご了承ください。

- ・初校の出直し：¥300,000
 - ・念校以降の修正：¥100,000
 - ・再取材のご要望についてはご相談下さい。
- ※全て税別・クロス

ダイヤモンドスポンサー（「専用ゾーン」設置プラン） 詳細

編集部企画のゲストセッション+貴社セッション×2枠から構成される
貴社専用ゾーンを設置するプランです。

ポイント

① アイティメディア編集部が貴社専用ゲストセッションを企画

貴社の訴求内容に親和性の高いコンテンツの企画とゲストのアサインを
アイティメディア編集部が担当します

② 貴社ゾーンの事前申込者リストをご提供

貴社専用ゲストセッションを含めた、貴社ゾーン全体の
事前申込者リストをご提供いたします（想定250名想定）※2

ゾーン構成

ゲストセッション
（編集部企画 40分間）

+

貴社セッション①※1
（30分間）

貴社セッション②
（30分間）

専用ゾーン ご提供内容

- ・ゾーンゲストセッションの企画・セッティング
- ・貴社セッション枠×2
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・ゾーン事前申込者のリスト提供（250名想定）※2
- ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴの掲載
- ・視聴者向け資料データのダウンロード配布（カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供（※個人情報なし）

ダイヤモンドスポンサー
「専用ゾーン」設置プラン 限定2社

ご提供価格：¥4,500,000-
（消費税別）

※1：貴社セッションのコンテンツについては貴社にてご用意ください。

※2：全事前申込者リスト納品をご希望の場合は
¥1,000,000-の追加オプションにてご提供可能です。
事前に営業担当までご相談ください。

ITmedia DX Summit vol.10 複数協賛特別価格のご案内

ITmedia DX Summitシリーズ vol.10では、開催テーマ、視聴者ターゲットの異なる3つのイベントを開催。
2つ以上のイベントへご協賛（もしくは同一イベントにて複数ゾーンご協賛）いただいた場合、特別料金にてご案内いたします。

10/25週開催想定

DIGITAL Back Office Week

主催メディア



開催テーマ

コラボレーション

ワークフロー

ドキュメントDX

ワークプレイス

11月8日週 開催想定

DIGITAL WORLD

主催メディア



開催テーマ

ワイガヤと求心力をもたらすデジタル変革

企業のデジタル化を支えるRPA、AI技術とその活用

ビジネスプロセス改革によるハイパーオートメーションの衝撃

11月15日週 開催想定

Cloud Native Week

主催メディア



開催テーマ

エグゼクティブ

クラウドネイティブ開発・運用

ITインフラ

2イベント、もしくは2ゾーン以上のご協賛の場合、ご協賛価格の高いプランを基準に追加ご協賛いただいたイベントを定価より **10%OFF** でご提供いたします。

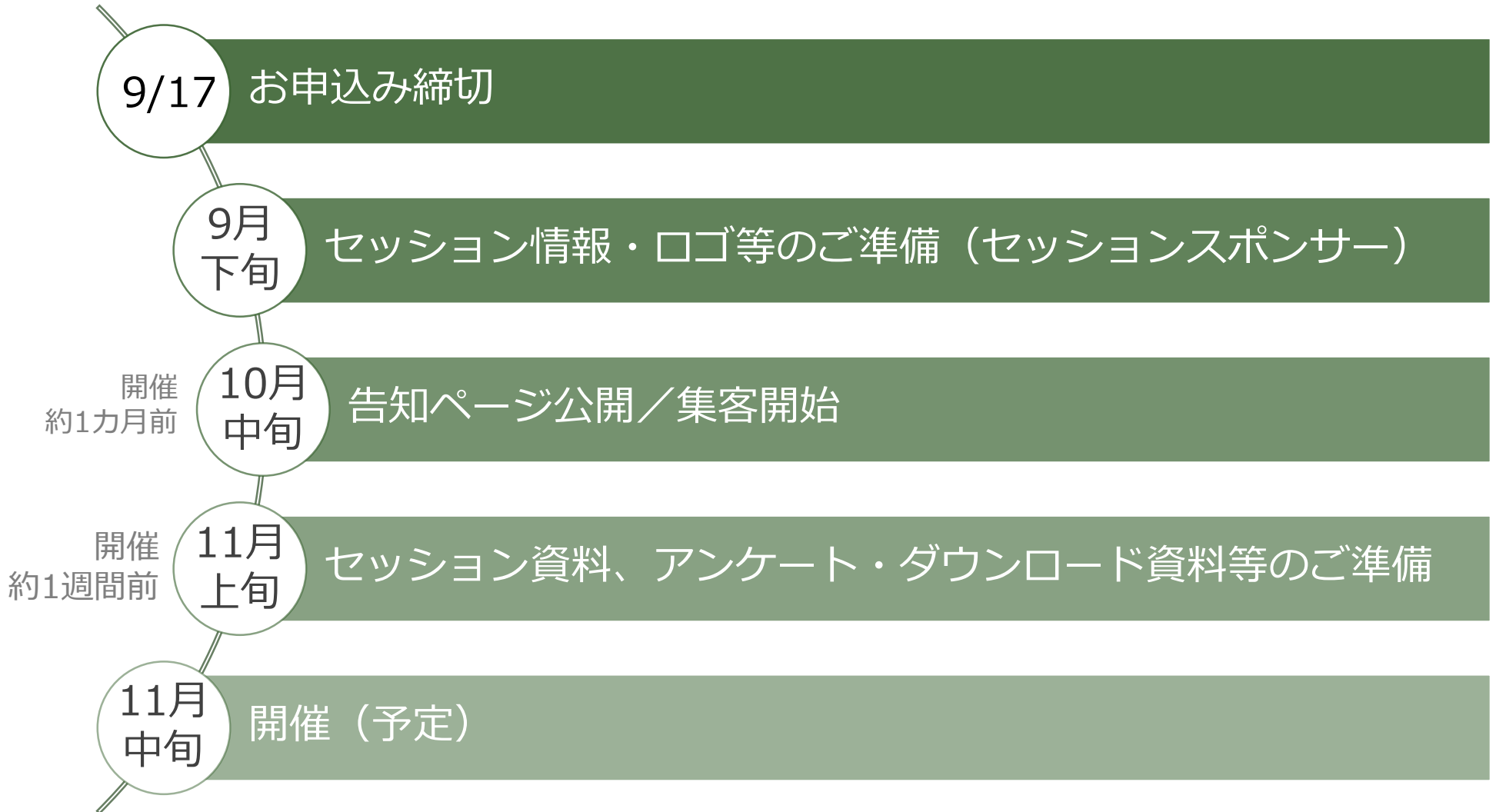
例：①DIGITAL Back Office Week プラチナスポンサー（230万円/税抜）と
②DIGITAL WORLD ゴールドスポンサー（200万円/税抜）をお申込みいただいた場合

合計ご協賛価格

①:230万円 + ②:180万円（10% OFF特別料金）=410万円（税抜・グロス）

詳細は営業担当へお問い合わせください。

開催までのスケジュール（予定）



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

オンラインセミナー ご留意事項

配布資料について

本セミナーでは配布資料としてカタログなどを3点まで、ダウンロードもしくは外部リンクにて配布することが可能です。

3点とは別に講演資料もこちらで配布することが可能です。

- ・資料形式：PDF、リンクURL

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ON24）における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。ON24は障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）を受け渡しの際は「個人情報受領書」に署名をいただきます。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

専門メディア「Cloud Native Central」とは

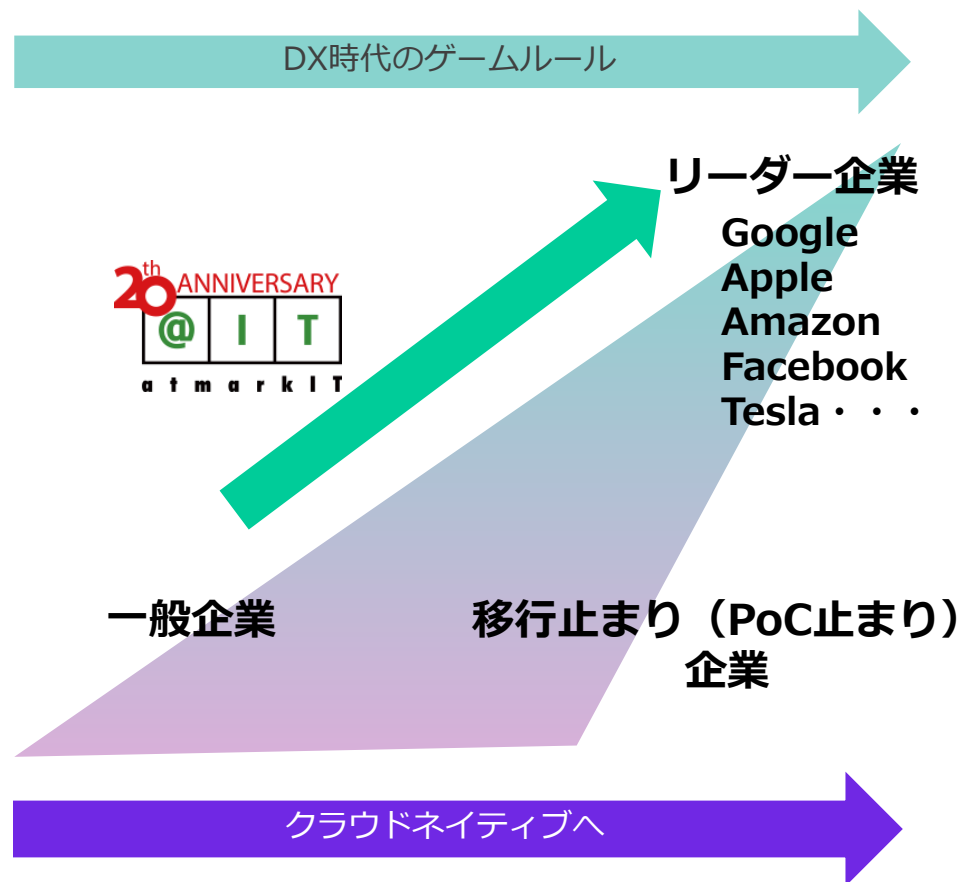
専門メディア「Cloud Native Central」は、企業によるクラウドネイティブの実践を支援するメディアです。



の4つのテーマの下で、@ITが得意とする技術解説記事や事例記事を読者にお届けします。CNCF（Cloud Native Computing Foundation）のトレイルマップ※に準じた形で、解説記事を展開し、これまでクラウドネイティブに馴染みがなかった企業担当者でも最新のベストプラクティスや関連技術を学び、実践に向けたアクションを取れるように支援をいたします。

メディア設置ドメイン：@IT
ページオープン予定：2021年6月22日

※クラウドネイティブ活動の指針として、CNCFのCloud Native Trail Mapをどう考えるか
<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1911/12/news006.html>





スケーラブルな能力を組織に——
**CLOUD NATIVE
CENTRAL** by 
クラウドネイティブセントラル

